

サメジマ ユイ		
鮫島 由衣		
学 歴 及 び 学 位		
2006年 4月	京都精華大学 芸術学部	メディア造形学科 版画専攻 入学
2010年 3月	京都精華大学 芸術学部	メディア造形学科 版画専攻 卒業
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等		
受賞歴		
2008年	ターナーACRYL AWARD 2008 美術手帖賞 受賞 ※絵画作品1点買い上げ	
2010年	GOLDEN COMPETITION 2010 U35 賞 受賞	
2011年	Dアートビエンナーレ 2011 入選	
2012年	トーキョーワンダーウォール公募 2012 入選 GOLDEN COMPETITION 2012 入選	
2013年	Dアートビエンナーレ 2013 入選	
現 在 の 職 務 の 状 況		
職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
助手	美術領域	在籍中

教 育 研 究 業 績

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
主に絵画表現を用いた現代美術作品の制作・追求	現代美術 絵画 立体 コラージュ

事 項	年 月 日	概 要
(教育方法の実践例)		
(作成した教科書、教材)		

(教育上の能力に関する大学等の評価)		
(教育上の実務経験を有する者についての特記事項)		
(教育に関するその他事項)		
(職務上の実務経験を有する者についての特記事項)		

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1. キノプリント 2010	共著	2010年3月	京都精華大学	大学卒業記念として2010年3月に開催した同名の展覧会に出品した版画作品を、そのまま保管できる形状の冊子にした。(シルクスクリーン作品を出品)
2. 鮫島ゆい「pipe dream」	単著	2013年6月	トーキョーワンダーサイト	2013年5月に東京で開催した個展のアーカイブとして展覧会風景を記録したブックレットを作成。
3. 鮫島ゆい展「中空の雲をつかむように」	単著	2014年6月	The three konohana	2014年3月に大阪で開催した個展のアーカイブとして展覧会風景を記録したブックレットを作成。
4. 鮫島ゆい展「5時の点は白と黒」	単著	2016年4月	The three konohana	2016年2月に大阪で開催した個展のアーカイブとして展覧会風景を記録したブックレットを作成。
5. 韓日芸術通信 Part 2 Cross Point	共著	2017年10月	忠北文化館 森ギャラリー	2017年9月に韓国で開催したグループ展のアーカイブとして展覧会風景を記録したブックレットを作成。
(学術論文)				
(研究業績に関するその他事項)				
【個展】				
1. 鮫島ゆい展 SUPER IRONY		2008年12月8日 ～2009年1月	Pict gallery (大阪)	アクリル絵具による絵画作品、コラージュ作品を10点展示。有限会社ヴィジョントラックによる企画展として開催。
2. 鮫島ゆい展 kan△navi		2011年6月13日 ～6月25日	GALLERY wks. (大阪)	アクリル絵具による絵画作品を8点展示。
3. 鮫島ゆい展 Tangent point 0		2012年2月22日 ～3月11日	neutron Tokyo (東京)	アクリル絵具による絵画作品を18点展示。Gallery neutron による企画展として開催。
4. TWS-Emerging 194 / pipe dream		2013年5月11日 ～6月2日	トーキョーワンダーサイト 本郷 (東京)	トーキョーワンダーウォール公募 2012年入選者から選抜され、トーキョーワンダーサイト本郷(現トーキョーアーツアンドスペース)にて開催。アクリル絵具による絵画作品と、粘土や木材を使用した立体作品11点を出品。5月11日にゲストに住吉智恵氏(アートプロデューサー)を招きアーティストトークを実施。(企画展)
5. Konohana's Eye#3 鮫島ゆい展「中空の雲をつかむように」		2014年3月28日 ～5月11日	The three konohana (大阪)	アクリル絵具による絵画作品と、木材や日用品を用いた立体作品を19点展示。ドローイングという位置付けで制作した立体作品をインスタレーションのように配置。The three konohana 山中俊広氏による企画展として開催。
6. Konohana's Eye#11 鮫島ゆい展「5時の点は白と黒」		2016年2月12日 ～3月27日	The three Konohana (大阪)	アクリル絵具による絵画作品と、立体作品を17点展示。別室の和室では木材や日用品を用いたインスタレーションを展開。The three konohana 山中俊広氏による企画展として開催。2016年2月19日日本産経新聞夕刊に展覧会情報掲載。
7. 鮫島ゆい展「punctuation」		2017年3月17日 ～3月28日	VOU 棒 (京都)	アクリル絵具による絵画作品と、木材や日用品を用いた立体作品を11点展示。VOU 川良健太氏による企画展として開催。

8. 「√ root」	2018年9月1日 ～9月23日	2kw gallery (滋賀)	アクリル絵具による絵画作品を10点展示。 2kw gallery 金子正二氏による企画展として開催。 2018年9月7日朝日新聞夕刊に展覧会情報掲載。
9. 鮫島ゆい展「境界のミチカケ」	2020年10月3日 ～10月25日	2kw gallery (滋賀)	油彩とアクリルの併用による絵画作品を13点展示。 2kw gallery 金子正二氏による企画展として開催
【その他 グループ展】			
1. AMUSE ARTJAM 2005	2005年11月12日、13日	京都文化博物館5階 (京都)	公募により選抜された81組によるグループ展。 アミューズ、ARTZONEによる企画展として開催。 アクリル絵具による絵画作品、コラージュ作品、半立体作品を4点出品。
2. via art osaka2008	2008年	サンケイブリールホール (大阪)	選抜された学生によるグループ展。 アクリル絵具による絵画作品、コラージュ作品を2点出品。(企画展)
3. ACRYL AWARD 2008	2009年1月30日 ～2月4日	〇美術館 (東京)	公募展 ACRYL AWARD 2008 入選者によるグループ展。 アクリル絵具による絵画作品を1点出品。(企画展) 絵画作品「あめふりカー」で同名アワードにて美術手帖賞受賞。
4. 韓・日青年作家交流展	2009年4月15日 ～4月27日	代案空間 MARU (韓国)	日韓の交流の一環として、韓国チャンオン市のギャラリーにて日韓13名によるグループ展として開催。 (企画展)
5. わくわく Kyoto プロジェクト	2010年8月16日 ～8月29日	元立誠小学校 (京都)	京都市内の様々なスペースにおいて作品展示や滞在制作を行うプロジェクトに、京都の元立誠小学校での作品展示にて参加。(企画展)
6. ART STREAM 2010 PICK UP ARTIST EXHIBITION	2010年9月7日 ～9月20日	サントリーミュージアム (大阪)	公募展 ART STREAM 2010 において選抜された10名の作家によるグループ展。(企画展) アクリル絵具による絵画作品3点を出品。 公募展第2回Dアートビエンナーレにおいて入選した作家によるグループ展。(企画展)
7. 第2回Dアートビエンナーレ	2011年10月31日 ～11月6日	ダイテックサカエビル (愛知)	アクリル絵具による絵画作品を1点出品。 絵画作品「無意識と美意識」で同名アワード入選。
8. C' est moi?	2012年5月9日 ～5月20日	ギャラリーメゾンダール (大阪)	5名の作家によるグループ展。 アクリル絵具による絵画作品を5点出品。 (企画展) 5月12日にアーティストトークを開催。
9. トーキョーワンダーウォール公募2012	2012年5月26日 ～6月17日	東京都現代美術館(東京)	公募展トーキョーワンダーウォール入選者によるグループ展。(企画展) 絵画作品「アナザースカイ・アイランド」で同名アワード入選。
10. 岐阜と宇宙民芸	2013年1月26日 ～2月10日	なうふ現代 (岐阜)	22名の作家によるグループ展。「宇宙からの民芸品」をテーマに立体作品を3点制作、展示。 1月27日にアーティストトークを開催。(企画展)
11. GOLDEN COMPETITION 2012 入選作品展	2013年2月6日 ～2月12日	アートコートギャラリー (大阪)	公募展 GOLDEN COMPETITION 2012 に入選した作家によるグループ展。大阪と東京を巡回。 アクリル絵具による絵画作品2点を出品。 (企画展)
	2013年2月16日 ～2月22日	ターナーギャラリー(東京)	
12. Que sera sera vol5 in Paris	2013年4月9日 ～4月3日	エスパスジャボン(フランス)	ギャラリーメゾンダールによる企画展としてフランスパリにて開催。 アクリル絵具による絵画作品を3点出品。
13. C' est moi? Vol 2	2013年7月19日 ～8月3日	ギャラリーメゾンダール	3名の作家によるグループ展。 アクリル絵具による絵画作品を3点出品。

		(大阪)	(企画展) 7月27日にアーティストトークを開催
14. 第3回Dアートビエンナーレ	2013年10月19日～10月27日	ダイテックサカエビル (愛知)	公募展第3回Dアートビエンナーレにおいて入選した作家によるグループ展。(企画展) アクリル絵具による絵画作品を1点出品。 同名アワード入選。
15. シブヤスタイル Vol. 7	2013年11月26日～12月8日	西武渋谷店 B館 8階美術画廊 (東京)	西武百貨店による企画展として37名の作家によるグループ展として開催。 アクリル絵具による絵画作品2点を出品。
16. liquid section	2015年2月23日～3月7日	2kw gallery (大阪)	3名の作家によるグループ展。美術作家 冬耳氏による企画展として開催。アクリル絵具による絵画作品、木材を用いた立体作品4点を出品。 2月28日にアーティストトークを実施。
17. ART OSAKA 2015	2015年7月3日、4日、5日	ホテルグランヴィア大阪 26階 (大阪)	アートフェア ART OSAKA 2015に The three Konohana から出品。アクリル絵具による絵画作品と日用品を使用した立体作品7点を出品。
18. ULTRA×ANTEROOM exhibition 2016	2016年7月22日	ホテルアンテルーム京都 (京都)	美術家の名和晃平氏とウルトラファクトリーによる企画展。各客室に作家が作品を収め、「365日アートフェア」と称した常設展として宿泊者が鑑賞、作品の購入が出来るプロジェクトに参加。客室356号室を一室担当し、アクリル絵具による絵画作品と立体作品を5点收藏。
19. GURA オープンスタジオ	2016年11月3日～11月5日	GURA (京都)	京都市伏見区に構える共同アトリエGURAにて7名によるオープンスタジオを開催。自身の制作室を公開。
20. 韓日藝術通信 part2 Cross point	2017年9月12日～9月23日	忠北文化館 森ギャラリー (韓国)	日本と韓国の相互理解および両国の新しい可能性の提示のため、日韓の美術家達が文化交流を図る試みとして開催された企画展。 アクリル絵具による絵画作品を5点展示。 主催：SAEM 後援：忠清北道文化財団
21. 日韓藝術通信 part3	2018年6月16日～7月1日	嵯峨美術大学 (京都)	日本と韓国の相互理解および両国の新しい可能性の提示のため、日韓の美術家達が文化交流を図る試みとして開催された企画展。2017年の韓国での展示に引き続き参加。 アクリル絵具による絵画作品を4点展示。 6月16日にゲストに美術家の藤浩志氏を迎えアーティストトークを実施。 主催：SAEM、日韓藝術通信実行委員会 協賛：忠清北道文化財団、京都嵯峨美術大学
22. SAEM どんな問い 展	2018年10月24日～11月5日	清洲市立美術館別館ギャラリー (韓国)	韓国のアーティストグループSAEMによる企画展。韓国人10名日本人2名によるグループ展。 アクリル絵具による絵画作品、木材と造花による立体作品を展示。 10月24日にオープニングトークを実施。 主催：SAEM 後援：忠清北道文化財団
23. 日韓藝術通信 2019 「温度」	2019年9月3日～9月15日	清洲市立美術館別館ギャラリー (韓国)	韓国のアーティストグループSAEMによる企画展。韓国人9名日本人14名によるグループ展。 アクリル絵具・油彩による絵画作品を展示。 10月24日にオープニングトークを実施。 主催：SAEM 後援：忠清北道文化財団
24. OPEN STUDIO ×10	2019年9月6日～9月9日	GURA (京都)	京都に点在する10のアトリエが同時期にオープンスタジオを行う共同企画。

<p>25. PERSPECTIVE SPIRAL</p>	<p>2020年10月23日～11月14日</p>	<p>成安造形大学【キャンパスが美術館】ギャラリーアートサイト（滋賀）</p>	<p>京都市伏見区に構える共同アトリエGURAにて7名によるオープンスタジオを開催。自身の制作室を公開。</p> <p>成安造形大学【キャンパスが美術館】による企画展。出展作家は梶浦隼矢、鮫島ゆい、須崎喜也、寺田駿志、水野勝規。アクリルと油彩による平面作品を5点、陶器に着彩をした立体作品を1点展示。</p>
<p>26. JAPAN KOREA Art Communications 日韓藝術通信 5/ 温度 往復書簡</p>	<p>2021年1月12日～1月24日</p>	<p>The Terminal Kyoto</p>	<p>日本と韓国の相互理解および両国の新しい可能性の提示のため、日韓の美術家達が文化交流を図る試みとして開催された企画展。2019年に韓国で開催した展覧会の対となる企画。アクリル絵具による絵画作品と陶器に着彩した立体作品を5点展示。</p> <p>主催：SAEM、日韓藝術通信実行委員会 協力：The Terminal Kyoto 助成：京都府文化活動継続支援補助金、公益財団法人日韓文化交流基金</p>
<p>（地域における専門分野を通じた活動）</p> <p>【パブリックコレクション】</p>			
<p>1. 「あめふりカー」</p>	<p>2009年1月30日～</p>	<p>ターナー色彩</p>	<p>2008年に応募した公募展 ACRYL AWARD 2008 において、アクリル絵具による絵画作品「あめふりカー」で美術手帖賞を受賞。後に買い上げ、収蔵。</p>
<p>2. 「ボンサイ」 「トワイライト・フィルム」 「ピンスポット・ホール」 「drawing（絵筆とペン）」</p>	<p>2016年7月22日～</p>	<p>ホテルアンテールーム京都（京都）</p>	<p>各客室に作家が作品を収め、「365日アートフェア」と称した常設展として宿泊者が鑑賞、作品の購入が出来るプロジェクトにおいて、客室356号室を一室担当し、作品を5点収蔵。</p>
<p>【コミッションワーク・トーク・イベント】</p>			
<p>1. C' est moi?</p>	<p>2012年5月12日</p>	<p>ギャラリーメゾンダール（大阪）</p>	<p>5名の作家によるグループ展においてアーティストトークを実施。フランス語で「私って？」を意味する展覧会タイトル「セモア？」に沿って、自身の展示作品についての解説、ディスカッションを行った。</p>
<p>2. TWS-Emerging 194 / pipe dream</p>	<p>2013年5月11日</p>	<p>トーキョーワンダーサイト本郷（東京）</p>	<p>トーキョーワンダーウォール公募 2012年入選者から選抜され、トーキョーワンダーサイト本郷（現トーキョーアーツアンドスペース）にて開催した個展において、ゲストに住吉智恵氏（アートプロデューサー）を招きアーティストトークを実施。自身の作品解説、コンセプト説明を中心に、今後の展開、ゲストとのディスカッションを行った。</p>
<p>3. C' est moi? Vol 2</p>	<p>2013年7月27日</p>	<p>ギャラリーメゾンダール（大阪）</p>	<p>3名の作家によるグループ展においてアーティストトークを実施。前回に引き続きフランス語で「私って？」を意味する展覧会タイトル「セモア？」に沿って、自身の展示作品についての解説、ディスカッションを行った。</p>
<p>5. liquid section</p>	<p>2015年2月28日</p>	<p>2kw gallery（大阪）</p>	<p>美術作家 冬耳氏による企画展として開催した3名の作家によるグループ展においてアーティストトークを実施。</p>

4. Wear the art !	2016年10月11日～11月14日	ルミネ有楽町 (東京)	ゲストに永草次郎氏を招き、自身の作品解説、コンセプト説明を中心に、出展者、ゲストとのディスカッションを行った。 2016年7月から参加しているホテルアンテルームのプロジェクトの一環として、10名の作家が選抜され作品をグラフィックイメージとして提供。 ルミネ有楽町前の吹き抜け空間に、大型ポスター及び柱巻きとして掲示。
5. 日韓藝術通信 part3	2018年6月16日	嵯峨美術大学 (京都)	日本と韓国の相互理解および両国の新しい可能性の提示のため、日韓の美術家達が文化交流を図る試みとして開催された企画展においてアーティストトークを実施。 ゲストに美術家の藤浩志氏を迎え、自身の作品解説、コンセプト説明を中心に、出展者、ゲストとのディスカッションを行った。
6. 日韓藝術通信 2019 「温度」	2019年9月3日	清洲市立美術館別館ギャラリー (韓国)	日本と韓国の相互理解および両国の新しい可能性の提示のため、日韓の美術家達が文化交流を図る試みとして開催された企画展においてアーティストトークを実施。 ゲストに清洲市美術館学芸員イ・ユンフイ氏、高嶋慈氏を迎え、トークイベントを実施。また自身の作品解説、コンセプト説明を行った。
7. OPEN STUDIO ×10	2019年9月8日	GURA (京都)	オープンスタジオ中のイベントとして、ゲストに修復士の田口かおり氏、東京藝術大学修復博士の松永亮太氏を招き、「ものを残すための手立て-絵画、現代美術の保存修復をめぐる-」というトークイベントを実施。
8. 鮫島ゆい展「境界のミチカケ」	2020年10月	2kw gallery (滋賀)	展覧会期間中のイベントとして、江上ゆか氏(兵庫県立美術館学芸員)との対談の様子をYouTubeにてオンライン配信した。
9. TV 番組「LIFE～夢のカタチ～」	2020年10月3日	朝日放送	朝日放送によるTV番組、「LIFE～夢のカタチ～」に出演。 自身が入居する共同アトリエ GURA への取材、およびアトリエ内のリビングをギャラリーに改装し、展覧会を開催するまでを放送。 改装後のギャラリーには実際に外部から来場者を呼び、展覧会として来場者とのコミュニケーションを行なった。
<u>学会発表</u>			
<u>翻 訳</u>			
<u>辞 典</u>			
<u>論文査読</u>			

エッセイ他

--	--	--	--	--